

シャロンの花だより

25期 主題：新しい歌を主に向かって歌おう

・・・ 喜び・祈り・感謝と共に ・・・

「あなたのしようとすることを主にゆだねよ。

そうすれば あなたの計画は揺るがない」 箴言 16章3節



巻頭言

『聖霊による洗礼』



使徒言行録8章14～17 ルカ3章15～17、21～22

教会暦で1年を過ごすルーテル教会では新年度は「主の洗礼の出来事」から始まります。そこから聞き言葉によって洗礼の恩寵をあらためて味わい、私たちが永遠の命にいたる約束を確かにできることは実に恵みだと感じています。

ルカ3章15節以下で洗礼者ヨハネは、「来るべきメシア」について「その方は、聖霊と火であなたたちに洗礼をお授けになる。…手に箕を持って、脱穀場を隅々まできれいにし、麦を集めて倉に入れ、殻を消えることのない火で焼き払われる」と語ります。

旧約の預言書には何箇所も神に従わない人々を風に舞う秕穀に見立てて、神に焼かれる秕穀だと述べる裁きの言葉が記されています。つまり、洗礼者ヨハネが予想していた「来るべき方」とは、「人々を義しく裁く方」だったということでしょう。

しかし、新約時代に入ってキリスト教会は、実際に到来した主イエスの姿に合わせて洗礼者ヨハネの言葉を解釈し直しました。まず、「聖霊で洗礼を授ける」とは「聖霊に浸す」というイメージであり、「火」は聖霊の力強さの象徴だと解釈し直しました。そこにはペンテコステの出来事も踏まえられたことでしょう。聖霊の根本的な働きは、神と人とを結び合わせることです。古代教会の人々は主イエスの洗礼の出来事を考察して、「聖霊による洗礼」は、「人を聖霊によって神に結びつけ、神の子とし、神のいのちにあずからせる」ものだと理解するにいたりました。

ルターは小教理問答で、私たちは、神のことばと結びついた水による洗礼によって「聖霊による新しいまれかわりの洗い」に与るのであって、「みことばなしには、水は単なる水であって、洗礼ではない」と教えています。

小田原教会・湯河原教会牧師：岡村 博雅 220301時点

使徒言行録8章15～17節には、サマリアの人々が神の言葉を受け入れ、使徒フィリポとは別人のフィリポから主イエスの名によって洗礼を受けたことが記されていますが、それは「(み言葉抜きの)水による洗礼」だったのでしょうか。そこで、ペトロとヨハネは、祈って、その人々の上(頭)に手を置きます。するとそこに聖霊が降り、その人達は「聖霊を受けた」と記されています。神は主イエスを信じる者の執り成しの祈りに応えて、聖霊を与えてくださることが証しされており、信仰を励まされます。

このように主イエスと使徒たちによって、キリスト者の洗礼(みことばと水によって手を置いて祈り、執り成す洗礼)は、神によって授けられる「聖霊による洗礼」であることが明らかにされました。この喜びはすべてのキリスト者のものです。皆さんが洗礼をお受けになったとき、その教派によって形の違いはあると思いますが、父と子と聖霊の名によって、水をかぶり、また、手を頭に置く接手を受けられたことでしょう。

私たちは「聖霊による洗礼」を受けます。私は牧会者としての経験を通して、その意味は、「聖霊による洗礼」と共に「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という御父の慈しみと天につながる安心を魂が聞き取ることだと信じています。聖霊は肉の目と耳には感じられませんが、み言葉によって主イエスの聖霊体験を私たち自身のものにすることが出来ます。主は、いつも共にあって、この世の生を力づけ、やがて、私たちを抱きしめて「あなたはわたしの愛する子」と慈しむ御父のもとへと私たちを必ず伴ってくださいます。

ープロフィールー

1954年生まれ。1976年日本キリスト教団松崎教会にて受洗。2007年日本福音ルーテル保谷教会に転入。按手年：2013年。小田原教会・湯河原教会に2013年着任、現在に至る。趣味：ネットサーフィン。特技：指笛、ミュージカル・ソー演奏。

… 湯河原教会ホームページ:牧師のツイートより …岡村 博雅 小田原教会・湯河原教会 前 牧師

2024年3月17日 日曜日

(2013年~2024年3月31日在任)

『安心してお任せする』

パーキンソン病だということが精密検査の結果で分かった。進行性の病だと知ればショックは大きい。

だが、イエス様がいつも一緒にいてくださり、一番いいことをしてくださるから、安心しておまかせする。

神は愛そのもの、主イエスは、すべての人をご自分のものに引き寄せてくださる。それは「その人のあらゆる条件を超えて!」

もちろん、人間である私たちは、どうしてももっといい人になろう、もっと上手にやろうとか考える。それはそれでいいとして、しかし、そういう人間からのアプローチはもう間に合わない。行いや努力とかいった一切のことを圧倒的に超えた「神さまの愛の大きさ」を、素直に受け止める。

2024年3月24日 日曜日

『憐れみの主は共に』

今週は引越しの予定となっていた。受難主日の礼拝が終わったあと、引越し業者から確認の電話が来た。

準備は遅れ気味どころか、ほとんど手がつけられない状態である。なんとしてでも、今週は引越しの準備をせねばならないと思っていた矢先の電話だ。事情を話すと「それではもう少し送らせて日程を考えてみましょう」との申し出に、一も二もなくお願いした。本当にありがたかった。「主は生き

ておられる、憐れみ深い主は共にいてくださる」と実感した。

これで、聖木曜日の礼拝が行える。最後の2週間の主日を一緒に過ごすことのできない湯河原教会での洗足式は天の恵みだ。この喜びに感謝しかない。

2024年3月31日 日曜日

『全ては感謝です!』

2013年4月から2024年3月までの11年間、小田原教会と湯河原教会に仕える事ができたことを、まず主に、そして共に奉仕した皆様に深く感謝いたします。

牧会を初めて間もなく、両教会とも小さな教会であっても、主イエスを求めている方々の多いことに気づきました。とにかく、ここにも求めがある、あそこにも私たちにできることがあると思いながら教会で、また、ご家庭や病院、ホームに足を運んで話を聞く日々を懐かしく振り返ります。主は素晴らしい方です。私たちの多忙な日々を喜びで満たしてくださいました。

牧師の奉仕には時間の区切りというものがなく、途中で妻と二人で煮詰まってしまったことも。しかし、あれもこれも今は恵み!感謝しかありません。

岡村博雅牧師は2024年3月末日をもち定年退職されました。

長年のお働きに感謝いたします。

5月より長岡立一郎牧師が着任(牧会委嘱)されます。



牧野 正子*湯河原教会

想いをこらえて…年表の振り返り

東教区女性会会報誌「シャロンの花だより」は100号を迎えることができました。主のご計画を探りながら今までの道程を辿ってみましょう。

*1893年に佐賀から始まった日本福音ルーテル教会は、米国南部↓北米一致ルーテル教会やフィンランド・ルーテル福音協会、米国スウェーデン系、米国フィンランド系、米国ノルウェー系教会宣教団体により教会堂が建てられ、宣教師が派遣されてきました。そして、戦前戦中・戦後とルーテルの各ミッションが合同を重ねた歴史があります。

▼1963年(昭38)東京オリンピック開催前年ルーテル教会は九州、西、東海、東の4教区による教区制が施行され、関東・甲信・北海道の3地区からなる東教区婦人会は、地区ごとに総会や修養会を開催し地区だよりを発行してきました。

▼1969年(昭44)第2回東教区婦人会総会が市ヶ谷教会で開催され、翌年「東教区婦人会便り」創刊。今期25期迄に156名の役員が、ほぼ年2号ずつ婦人会便りを繋ぎ各教会女性会の交流の場として情報発信。会員の心に触れる役割を担いました。

▼1981年(昭56)北海道地区が、北海道特別教区として独立。その際に北海道地区婦人会が「東教区婦人会だより」22号を担当、甲信地区は27、98号の間に14回東教区婦人会だよりを担当されました。

通信機器や手段が現在とは違い豊かではなかった時代に、牧師や婦人会・女性会会員皆様への原稿依頼や編集作業、送付連絡のご苦労など、役員が教会に集合して一日がかりで、時には何日も時間と人の手を費やして印刷・製本・発送されたことは、大変な働きであったことでしょう。

▼2009年(平21)78号から東教区会報

●「シャロンの花だより」が女性会連盟のホームページに掲載を開始。東教区女性会会報誌はここ10年ほどの間に大きく変化しています。

①52号(16期)B5版→A4版へ紙面の拡大化。②68号(19期)2号「婦人会便り」↓「シャロンの花だより」へ名称変更。名付け親はどなたでしょう。③84号(22期)4号「紙面のフルカラー化。格段に見やすく楽しくなった紙面をぜひデジタル画面で実際に手にとってご覧ください。」

●東教区女性会の活動は、役員が交代しながら、多くの会員の関わりとお支えにより3年間1任期として継続されてきました。「教区総会・教会総会時のコーヒESHOPP」「一日神学校時のミニSHOP」出版協力・売り上げの献金「東京老人ホーム訪問交流」「小中高キャンパススタッフ」「世界祈禱日」ACWC・いつくしみ集会参加「ほしくずの会ボランティア」「神学生へ教会手帳贈呈」「講演会開催」等々。絶え間ない活気に満ちた活動記録を振り返りながら、コロナが一日も早く終息し顔と顔を合わせて親しくお話しできる恵みを分かち合いたいと思います。

●最後に「100号までの歴史を知りたい」と口走り、歴史を担当しました。女性会の歴史や資料の膨大さに、「婦人会便り」の実物を未確認部分もあり、悩みながらのレポートとなりました。

*教区事務所平井様には約50年分の教区総会資料をフルスピードでコピー頂き大変お世話になりました。お礼申し上げます。

*第II賛美歌192「シャロンの花」イエスの愛称「雅歌2:1」

▼この度、コロナ禍の2022年春〜2024年ポストコロナの春に、あらためて100・101号合併号の発行となりました。二年間を振り返り、貴重な記録でもあり感慨深い思いです。感謝と共に(25期役員一同)

…女性会の歴史…トピックス

*特集・婦人会から女性会へ 1928～2022

1928(S3)	婦人会連盟創立大会(熊本)
1936(S11)	関東部会発足(ルーテル神大)
1949(S24)	戦後第1回婦人会連盟大会(九州女学院)31教会103名参加・女性神学生援助決議・地区婦人会(関東・甲信・北海道)
1951(S26)	第2回婦人会連盟大会(東京教会)
1953(S28)	東信北部会(フィンランド系)日本福音ルーテル教会と再合同し婦人会連盟加入(池袋・大岡山・上諏訪・飯田・岡谷・札幌教会)
1963(S38)	東海福音ルーテル教会は日本福音ルーテル教会と合同(小石川・本郷・板橋教会は東教区へ)ケネディ暗殺・4教区制へ
1966(S41)	東教区婦人会結成・婦人グループの集い(東京教会)3C時代
1967(S42)	第1回関東地区婦人大会(田園調布)甲信地区会
1969(S44)	第3回甲信地区会(毎年開催)/アポロ月面到着・東名高速開通
1969(S44)	第2回東教区婦人会総会(市ヶ谷)春季修養会(都南)/東京老人ホーム訪問/神学校寮クリスマスケーキ贈る/牧師夫人・会長会
1970(S45)	東教区婦人会便り1号発刊・女性牧師按手第1号(門脇聖子牧師)
1971(S46)	第8回教区総会(田園調布)でお茶の接待/北海道地区初修養会開催(毎年開催)
1972(S47)	第9回全国婦人会連盟大会37名・第3回東教区婦人会総会(市ヶ谷)東教区婦人会長は関東、甲信2地区会長の互選、任期2年
1976(S51)	教区婦人会役員任期3年間/上諏訪・岡谷1つに。釧路休会
1977(S52)	コーヒーショップ:神大基金募金に/BOFレセプション料理づくりと接待/島田療育園にバスタオル集め送付
1978(S53)	ACWC会議出席各国代表ホームステイ・教会交わり協力(市ヶ谷・武蔵野・田園調布)・第11回連盟大会
1979(S54)	●帯広教会・甲府教会加入
1980(S55)	●釧路教会・世田谷新町教会加入
1981(S56)	第12回連盟大会(日本武道館)教区主催歓迎夕食会/北海道地区→北海道特別教区婦人会/日吉教会加入
1982(S57)	教区婦人総会(本郷教会)・教区婦人会長役員研修会(初)50名・甲信・仙台教会参加/中山・長野・元町教会/岡谷教会新会堂
1984(S59)	●八王子教会加入/解組:銚子教会・世田谷教会
1985(S60)	第13回総会(武蔵野教会)役員選出方法:3ブロックから6名選出・輪番制●藤が丘教会連盟加入
1987(S62)	●三鷹教会加入(35番目)
1989(S64/H1)	婦人会連盟創立60周年記念大会(京都)/湯河原教会(東海教区より)編入、小田原教会加盟
1991(H3)	第15回婦人会連盟総会/東教区婦人会総会開催を秋→春・女性牧師按手第2号・内藤文子牧師
1993(H5)	会長会(市ヶ谷センター)秋の修養会(保谷教会)87名・女性牧師按手第3号・中村朝美牧師
1994(H6)	第16回婦人会連盟総会(東山荘)85名・サバ神学生支援(宣教百年記念10年間奨学金)
1995(H7)	横須賀教会休会届/阪神大震災救援活動/東北地区仙台・鶴ヶ谷教会訪問ツアー
1996(H8)	連盟事務局開局(東京教会)/女性牧師按手第4号・平岡仁子牧師/羽村教会献堂式/3ブロック毎と甲信地区会長会
1997(H9)	第17回婦人会連盟総大会(博多)・文書B5版→A4版に/東教区婦人会ニュースNo.1発行/春ブラジル児童劇団明日の星講演
1998(H10)	仙台鶴ヶ谷教会婦人の集い訪問・女性牧師按手第5号・宮澤(鈴木)真里子牧師・サバ神学生支援プログラム来日交流
1999(H11)	蒲田教会献堂式/津田沼教会献堂式・北海道・東京ひびきの集い/サバ神学院訪問の旅・女性牧師按手第6号岡田薫牧師
2002(H14)	会長会は年1回/東教区婦人の集い・ひびきの集い/女性牧師按手第7号・坂本千歳牧師・按手第8号ピリピ・ソベリ牧師
2003(H15)	第19回東教区婦人会/地区→教会群(城北・総武、神奈川・城南、中央線沿線、甲信)へ・女性牧師按手第9号・伊藤早奈牧師
2004(H16)	東教区「婦人会便り」→「シャロンの花だより」会報の呼称変更
2009(H21)	第21回東教区婦人会総会(名称変更承認)東教区婦人会→東教区女性会
2011(H23)	東日本大震災発生/雑巾プロジェクト・被災地産物購入販売/「思い出洗い隊」、「ルーテル支援センターとなりびと」
2013(H25)	TNG春のティーンズキャンプ・子どもキャンプ手伝い/一日神学校/サバ訪問/被災地支援訪問・神学校支援/(会報のみ1教会)
2014(H26)	読みやすい会報「シャロンの花だより」84号カラー化、いつくしみと共催/朗読劇上演。(休会7教会/未入会1)
2016(H28)	熊本地震支援/東日本大震災被災地仮設住宅姉妹訪問・交流。(休会8/未入会1)
2017(H29)	東日本大震災被災地仮設住宅姉妹訪問・交流/ゴスペル・手話賛美ワークショップ/東京老人ホーム音楽交流(休会9/未入会1)
2018(H30)	第24回教区女性会総会/教区役員5名体制(休会10教会未入会1)
2020(R2)	コロナにより書面総会/コロナ流行始まり諸行事中止。地区集会開催。(休会11教会、未入会1教会)
2021(R3)	教区6名→5名体制/春の会長会&女性の集い書面開催/秋の集いZoom/ハイブリッド開催(むさしの教会)/長野教会休会(休会12未加入1)
2022(R4)	春の会長会&女性の集いハイブリッド開催(むさしの教会)/秋の集い(東京教会)(休会12教会、未加入1教会)

特集「女性会・教会の今」*東教区女性会会報「シャロンの花だより」100号から今後へ*

アンケートから見えてきたもの…今、そしてこれから 神庭靖子*飯田教会

2021年4月、今期役員会はコロナ禍の中発足し、「女性会・教会の今」を知るためのアンケートをもって活動を開始しました。これに対し、多くの方々にご回答いただき、シャロンの花だより第99号に結果を掲載しました。2022年6月、第3回会長会&女性の集い(以下集い)では、アンケートの振り返りをもとに、皆様の生の声をお聞きしました。

この度本会報は100号を迎え101号へと繋ぐ、90余年にわたる歴史を振り返りつつ、本稿では、アンケート結果・集いから見えてきた「今」と「これから」を考察したいと思います。

アンケートからわかったことは、①回答者の70%以上が60代以上であり、高齢化が進んでいることでした。年齢分布は70代が最多で、40代以下は7.5%と60代以上の10分の1という偏りがあります。アンケート結果を考察する際、この偏りを考慮しなければなりません。

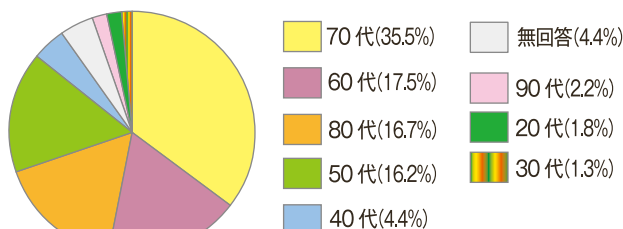
回答者の女性会活動への思い②は、ポジティブな回答(有意義である、参加したい)と、ネガティブな回答(男女をわけ必要があるのか、意味がない、楽しくない)が半々でした。しかし、回答者の年齢分布を考えると、中高年者でも女性会活動について課題を感じていることが窺えました。女性会の名称についても、「現状でよい」とのポジティブな回答が過半数の一方、ネガティブな回答(変更を望む、信徒会がよい、時代錯誤)もあり、やはり中高年者でも「女性会」という名称に疑問を感じている方が少なくないと考えられました。

会費③についても、「妥当」とのポジティブな回答が過半数でしたが、ネガティブな回答の中では、「高い」との回答が「安い」との回答の2倍ほどありました。高齢となり年金生活の中で会費を払うことの大変さが窺えました。

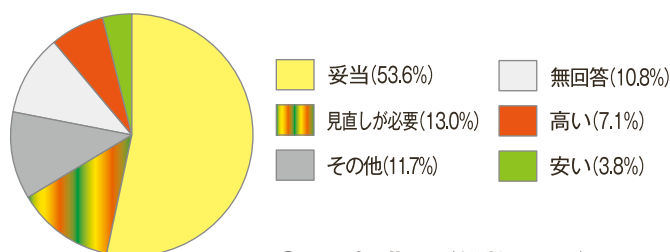
集いでは、高齢化(若い頃のように活動できない)、会費の高さ(複数の献金で手一杯)、役員を出すことの困難(若い世代が入会せず会員数が減少し出たくても出せない、当番制が負担)などが、休会教会の年々の増加につながるの意見が出されました。

一方、コロナ禍で活動を休止していたけれどやっと動き出しつつある、といったポジティブな現況もお聞きできました。各教会に集まりZoom参加された皆様からは、ご高齢でありながらも和気あいあいとして明るい雰囲気画面越しに伝わってきました。コロナ禍の影響の大きさと共に、そうした困難に揺らがない長い歴史の重みを感じました。

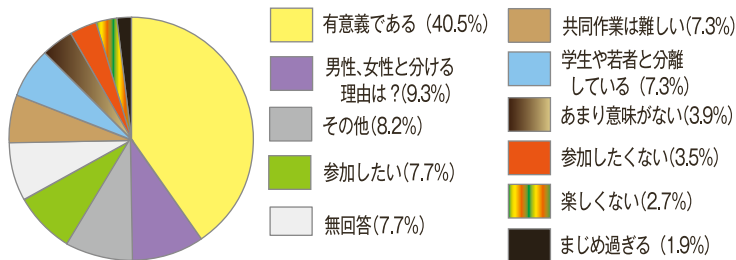
以上の事から見えてきたことは、高齢化、会員数減少の問題が加速度的に深刻化しているということでした。多くの教会では、女性教会員数の方が多いにもかかわらず、代議員は男性が多いというのが現状です。女性会が受け継いできたよき伝統を生かしつつ、高齢化の現実に向き合うためには、男女差を見直し、働くことがあたりまえである若い世代にとって魅力があり無理なく参加できる活動の工夫が必要なのではないかと思います。そのことへの示唆を与えてくれているのが、すでに男女の区別なく信徒としての活動をしている教会の取り組みだと思います。今回見えてきた東教区女性会の課題は広く、連盟、教区、本教会とも連携し考えてゆくことが必要な課題とも言えるでしょう。しかし、まずは、若い世代の声を聞きつつ、弱者への奉仕から始まったルーテル教会の宣教の精神に私たち自身が立ち返り、現在の女性会のあり方を考えてゆく必要があると思いました。



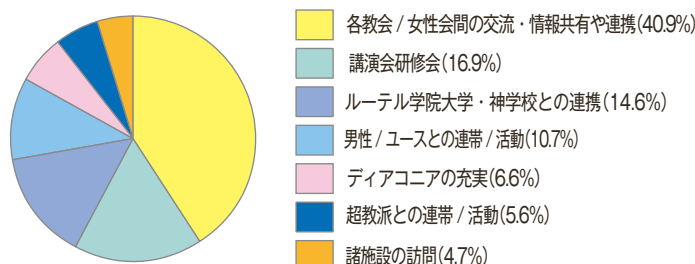
① 2. 年代(差し支え無ければ) (総数 228)



③ 6. 会費 (総数 239)



② 4. 東教区女性会の活動は (総数 259)



④ 10. 今期3年間で取り組むべきこと、ご希望など(総数 301)

🌈 <休会教会へのアンケート回答集計> 🌈

【回答教会】13教会中10教会より回答あり(回答率77%)

➡本郷、小岩、甲府、板橋、保谷、長野、仙台、小田原、津田沼、小石川 教会

【記入者】①牧師8名(本郷、小岩、甲府、板橋、長野、仙台、津田沼、小石川)、②女性会会長1名(保谷)、③その他1名(役職教会会計(小田原))

1. 貴教会の信徒活動についてお尋ねします。活動しているものに○をお付けください。

①2信徒会(本郷、津田沼)、②3女性会(保谷、長野、小石川)、③1壮年会(保谷)、④1学生・青年会(保谷)

無記載(小岩、甲府、板橋、仙台、小田原)

婦人会の他、ろう者会、大志会。関心ある活動に性別、年齢に関わらず参加している状況。(小石川)

2. 活動内容を具体的(簡単に結構です)に教えていただけますか。

●無記載(仙台)●コロナ禍で、活動休止中ですが、以前は食事会などを開催。(本郷)●2020年度よりどれも行ってない(小岩)●信徒会、女性会、青年会いずれもありません。高齢化の影響が大きい。(甲府)●毎週の礼拝を行いZoomでも参加を募っています。出席者は集会和配信含め15名程です。教会員は高齢者が多く、奉仕者が少ない状況です。(板橋)

●コロナ禍以前は昼食の交わり後に連盟の聖書研究テキストを用いて、壮年会、青年会と合同で聖書の学びの時を持ち、その後、女性会例会を開いていました。コロナ禍により礼拝や諸集会在休止された期間➡女性会も集えない中でも何とか工夫して誕生カードの寄せ書きだけは続けました。

礼拝再開後➡続くコロナ禍で昼食の交わり・聖書の学びは休止状態で、毎月第3日曜礼拝後に活動制限の中、短時間で女性会例会を持ち、報告や協議事項も少なく、年間60名の他住会員、求道者を含む女性会員へ誕生カードの寄せ書きをお送りする活動を継続しています。連盟と東教区女性会の会報は継続購読中です。(保谷)●女性会連盟発行の冊子を用いた聖書研究会(長野)●現在、各集会を開催できない状態です。「ちょっと無理して、礼拝に出席しよう」を目標に、頑張っています。(小田原)●信徒牧会者育成トレーニングを月に1度(津田沼)●聖書研究(小石川)

3. 女性会連盟/東教区女性会の休会理由をお知らせください。複数回答可

①教会員の減少(甲府、長野、小田原)②新規女性会入会希望者の減少(甲府、長野、小田原、小石川)③役員(教区女性会役員会)を出すことができない(小岩、甲府、保谷、長野、小石川)④会費が払えない⑤活動に賛同できない⑥その他:自由記載へ(本郷、小岩、板橋、仙台、小田原、津田沼)

●以前教会女性会で決定された経緯はわかりません。(本郷)●世話人を担う方、興味を持ち関わる方がおりません。(板橋)●聞いておらず不明です(仙台)・①中心会員の就職、夫の病氣看護 ②新女性会員へ、女性会への説明不足、関心が薄いこと③②に記載の通り、礼拝出席を第一目標にあがいて？

います。(小田原)●理由を聞いていません(津田沼)

4. 今後復帰したいご希望はありますか。

①ある(0)②ない(5)(本郷、板橋、仙台、津田沼、小石川)③

どちらともいえない(5)(小岩、甲府、保谷、長野、小田原)

*復帰をご希望される場合のポイントは何ですか？

①役員候補を下さなくてもよければ(1)(保谷)

②(0)役員会・行事の出席方法が柔軟なら(ZOOM可など)

③(0)会費が引き下げられれば

④その他 ※自由記載へ(本郷、長野)

●無記載(甲府、仙台)●女性会活動をしておらず、復帰は難しいと思います。(本郷)●少人数でも意欲があれば復帰したい。(小岩)●会員数が少なく、高齢化もあり、働きを担えない。復帰を希望する以前に、教会の維持・存続に精一杯なため(長野)●教会行事もご参加が難しい人が多くなってきています。まず来会され礼拝の喜びを味わっていただきたい。(小田原)

5. 東教区女性会についてご意見・ご希望などございましたら、ご自由にお書きください。

●無記載(小岩、板橋、仙台)●現代は、女性が女性会として活動するよりは、各教会で女性が役員になられたり、代議員になられたりして、活躍される時代だと思います。(本郷)●現状では、女性会の復帰は難しいと思われます。(甲府)●女性会登録会員は20名ほど、毎月の例会に出席できるのは5-6名に限定され、自身の健康上の問題、家族の介護、パソコン操作等の課題により、先般は教区女性会への役員候補を送り出せず、今後も状況の好転は困難と考え止む無く休会を決断。ただ、今後の女性会連盟・東教区女性会へは様々な意見があり、以下に記します。

①変化しつつある社会情勢を考え、女性に特化した会の意義はどこにあるか。これからは、性別や年齢を超えた奉仕活動や集会や委員会へと変わっていくのではないかと。

②今この時代に、女性たちが集まり、このような組織の維持には意義があるとも考えるが、その意義が明確にされていない。女性たちにキリスト者としてエールを送る働きを、積極的に担ってゆけるのではないかと。(保谷)●このようにヒアリングを重ねることは大事なことだと感じています。教会の根本的な部分からの今の会員の状況に合わせた働きの整理・新設等の時期が来ているように感じています。このアンケートの意味を含め、是非推し進めていただきたいと思います。お働きに感謝いたします。(長野)●どの教会も大変な時に申し訳ございません。地元の信徒が少なく、皆さん時間が取れず、古い信徒のミスでしたが、新しい信徒に対しての思いやりが少なかったかと反省しています。女性会も若年会員が関心を持つ企画も必要かと、個人的には思います。(小田原)●お働きありがとうございます。今の時代、性別、世代を越える働きが必要と考えます。(津田沼)

大森ルーテル幼稚園 園長 竹田 孝一

22.03.01 時点 - '24年 4月 1 日より森田 哲史園長



* ジャブジャブ 楽しい水あそび

■幼稚園では、日々の生活の中でイエス様と共に祈りをし、賛美をします。

礼拝をしていく中で、イエス様ってどっとうい人なのだろう。見えなが、どこにいるのだろう。子どもながらに聞いてみてみたくなることが出てきます。

実際に泥棒のことも神様は好きでいてくれるのだろうか？と牧師先生に確認をしに行く子どももいました。

「私は泥棒さんのこと好きじゃないけど、神様は泥棒さんのこと好きなのですか？」

「うん。いいことを聞きに来たね！質問の答えは、イエス様は泥棒さんのことも好きだよ。きちんとかめんなさいをしたらイエス様は赦してくれて、こっちにおいで、好きだよーってしたら、悪いことをしていた泥棒さんも変わっていくかもしれないね！」

このお話を、全園児が集まる金



* いつともども見守っている桜の木

曜礼拝の場で「どんな悪い人、いじわるをしてしまった人も、イエス様は嫌いにならず愛してください」のだと、副園長先生が話をしてくれました。

どんなに悪い人、いじわるをしてしまった人もイエス様は嫌いにならず愛してくださいと知ったその子は、保育室へ帰ると、「私もいじわるな子、嫌いにならない！」と言っていました。

私たちに出来ることは限られています。イエス様のお話を子ども達に伝えていくこと。それこそが次世代を担う子ども達を育ていく上で、必要不可欠であると日々感じています。

田園調布ルーテル幼稚園 園長 高瀬 眞理子



* 園庭で大人気の泥んこあそび

■幼稚園でさかんな遊びは泥んこです。いつもジョウロやバケツで園庭に水を運んで泥遊びに興じています。園庭は雨が降ると一面泥遊びの場となり、子どもたちは裸足になって外に飛び出していきます。両手両足を泥に入れて感触を楽しみながらのチョコロ作りや、川を巡らせ園庭中を渓谷にするなどダイナミックに遊びます。また泥団子作りも盛んで、座り込んでおしゃべりをしながら、何度も白砂をかけてピカピカに光らせることに熱中します。名人の域まで達すると、周りの子が教えを請いに集まってくる。黒く光るまで磨いたお団子だけ特別に持ち帰ることができるのです。

2月の初めには年長組の子どもたちが家を建てよう、園庭の真ん中に土で土台作りを始めました。次々と子どもたちがきて一緒に作ったり、かと思つと小さな子

たちが困いを崩してしまい、大騒ぎになったりしました。それでも温泉を作りたかったと知り、解決の道を自分たちで手繰り寄せます。温泉付きの素敵な家作りは、飽きることなく卒園式の前日まで続き、クレイターのように作った作りかけの家の中で卒園生全員が記念撮影をして巣立っていきました。

泥だらけになりながら、五感が刺激され、想像力が養われ、共に目標を達成する喜びが養われます。いつも同じ仲間が集い、安心して遊ぶのが保証されていること、それが幼稚園です。いつでも新しいことに挑戦できること、力を合わせることで、根気よく続けることができること、友だちと一緒に考えること……ここでの、心が動いたり揺さぶられたりする経験を通して、小さな心と体が育っていくのです。

幼いこの時期に、神様に祝福されながら培われたこれらのことが、今後の人生の土台になっていく、田園調布幼稚園はそんな園でありたいと願っています。



* みんなで楽しい泥団子づくり

蒲田ルーテル幼稚園 教員 安藤 淑子

■2022年4月で蒲田ルーテル幼稚園は創立71周年を迎えました。教会の50年史には地元の婦人達が昭和24年に、幼稚園設立を日本福音ルーテル教会に要望したとあります。その2年後に園舎完成、3年後には幼稚園が都に認可されています。

当園は京浜急行電鉄の雑色駅から徒歩5分のカメラ工場の跡地(600坪)に建てられ、現在は5本の桜の大木、様々な果樹等が緑の気持ちの良い空間を作り出しています。この敷地に幼稚園と礼拝堂があり、礼拝堂の二階部分は牧師館になっています。

最初の木造園舎は、平成6年に当時許可される最大面積500㎡の、木の香りに満ちた建物に建て替えられました。園庭は手入れが必要な土のまま、園舎・園庭共に、そこにいる子どもたちに心地



*パイプオルガンと十字架が並ぶ礼拝堂で

良いぬくもりが伝わる事を大切にしています。

園の教育方針は、聖書の言葉にある「若い日に造り主を覚え、神と人に愛される子どもとなるよう」を掲げています。自然環境も豊かな園舎で、保育については「遊びを大切にすること。在籍している他国からの園児達とも仲良くする」音楽や動植物については本物に触れる機会を沢山設ける」を基本にしています。

時代が変わり、第一子出産前に就業していた女性の就業継続率は50%を超えています。当園も国の子育て支援策の方向性を踏まえ、子育て支援・働く親支援の充実を目指し、一時預かり事業を実施しています。

3世代が当園の卒園生というご家族も既にあります。今後とも長く蒲田の地にあつて子どもたちが豊かな幼児教育の場である本園で幼児期を過ごせますよう願っています。

次世代をはぐくむ



*採れたての、美味しそつな さくらんぼ

大岡山ルーテル幼稚園 園長 桑原 泉



*楽しいお弁当/おやつタイム(アクリル板衝立/コロナ対応時)

■2020年に創立80年を迎えた大岡山幼稚園には、2021年に新園舎「大岡山幼稚園アネックス」ともにハウスが完成しました。

ともにハウスでは、一時預かり事業としての2歳児保育がスタートし、幼稚園に最長5年在籍可能となり、兄弟で一緒に幼稚園へ通いやすくなりました。小さなお友達が増え、その可愛い笑顔に毎日癒されています。

大岡山幼稚園では、50年以上も前から障がい児を受け入れ統合保育をしてきました。現在も園児の割程は特別な支援が必要なお子さんです。又、毎週水曜日は縦割り保育を行っており異年齢のお友だちとの楽しい時間を過ごしています。



*幼稚園の新園舎:2歳児保育の「ともにハウス」

近年、子育て環境の変化や共働きの保護者が増えていますので、長い時間預かり保育を利用する方が増えました。これからの幼稚園は、子どもの育ちをより深く、広く支える場所をなければならぬと実感しています。そして幼稚園は園児のみならず、子育てをしている若いパパやママも卒園生も集まれる場所であればと思っています。未来を創っていく子どもたちが集まる希望の場所として、昔からの取り組みも大切にしながら、大岡山幼稚園は時代に合った新しい歩みを始めています。

幼稚園の今

雪ヶ谷ルーテル幼稚園 園長 田島 靖則

22.03.01 時点ー現在は佐藤 真紀子園長

■雪ヶ谷ルーテル幼稚園は1953(昭和28)年に、当時の五反田教会の附属幼稚園として誕生しました。1960(昭和35)年に現在の雪ヶ谷の地へと移転し、以来雪ヶ谷ルーテル幼稚園として69年にわたってキリスト教保育の活動を続けてきました。幼児期に必要な不可欠とされるのは、「自分は愛された」と感じる経験だといわれます。キリスト教保育の園が最も大切に行っていることは、全てその一点に集約されます。日本人の子どもは、他国の子どもたちに比べて自己肯定感が極端に低いといわれています。自尊心が育ちにくいこの日本社会で、キリスト教保育の園が担う役割は依然として大きいと思います。最近の保育理論で盛んに取り上げられる「非認知能力」は、ずっと昔からキリスト教保育の園が大切にしてきたものです。重要なのはIQ(知能指



*ひとりひとりが個性的

数)よりもEQ(情動指数、心の知能指数)であることは、キリストの言葉と行いから教えられることでもあります。雪ヶ谷ルーテル幼稚園の園庭には、一本のソメイヨシノの巨木があります。春に美しい花吹雪を降らせてくれることはもちろん、夏には園庭で遊ぶ子どもたちに涼しい木陰を提供し、秋には色づいた葉っぱを山ほど落として、子どもたちの遊びや創作意欲に花を添えています。子どもたちがこのサクラの木を、どのような気持ちで見ているのかは分かりませんが、そこに神様の業を感じ取ってくれればと思っています。



*四季折々の声を聞かせてくれる桜の木

飯田ルーテル幼稚園 元保護者/教員 田口 久美子



*お手製のクリスマスツリー

■1982年、長女が飯田ルーテル幼稚園(以下園)に入園した時から、絵本「小さなおうち」をモノクロ化したような牧師館で、保護者としての私の聖書の学びが和田英男牧師の導きの下に始まりました。次女が入園し私は受洗しました。三女の頃には園舎を改築。園保護者会と教員が協力したルター祭には、近隣の方々が列をなして参加して下さいました。今もその当時から先生方も多く、現園長の黒河内智子先生もそのお一人です。2018年、三女が里帰り出産の折、娘の長男は数か月間園に通いクリスマス会にも参加させていただきました。居住地ではキリスト教系が叶わず、娘は長男を仏教系幼稚園に通わせていました。業者弁当の昼食に苦戦していました。しかし園の手作り給食に出会い、好き嫌いがなくなり、娘は心のこもった給食の素晴らしさに感謝し、園の魅力を再認識したようでした。通う様子を見る時、娘が園の運

*運動会で神様に祈ります



動会で祈る姿が思い出されます。私は、園を通じて神様と出会い、主に我が身をゆだねて歩むうちに、世代を紡いで今があることを実感します。私に聖書の学びを与えて下さった和田牧師夫人お手製のフェルトのクリスマスツリーは、仏教一族である我が家のクリスマスに今も飾られます。2022年4月、飯田ルーテル幼稚園は学校法人化され、教会は多くの問題を抱えつつも前に進むとしています。「主に委ねよ」という言葉は、園の元保護者であり現在教員でもある私の心に響きます。



羽村ルーテル幼稚園 園長 加藤 拓末

次世代をはぐくむ幼稚園の今



*遊びが広がる園庭機関車遊具



*創造性と表現力を豊かに

東京都羽村市にあるルーテル羽村幼稚園は、郊外ならではの自然豊かな環境のなか、アットホームな雰囲気保育を行っております。昨年、めでたく60周年を迎えました。本園の特徴として思い当たるのは、まず「教室」ではないでしょうか？ ゆったりと広めで、天井が高く、開放感が感じられます。また、年少組から年長組まで、同一階に教室が横並びにあり、広い廊下でつながっているため、年齢の異なる子どもたちが一緒に遊ぶこともでき、そのなかで社会性や協調性などが育まれています(異年齢教育)。

先生方は、ベテランの副園長を中心に、中堅・若手でバランスよく編成。真摯にキリスト教の「愛」を基礎にした幼児教育に取り組み、同時に「食育」にも力を入れており、専門の栄養士の監修のもと、週5回の給食を実施しています(美味しいと評判!)。また、日々の保育に一流の美術家による絵画指導や、外国人講師による英語教育も導入し、園児の創造性と自己表現力の育成にも配慮しています。

このアットホームな本園に、今年4月(※2022年)からバツ八研究者である私が、異色の園長として新たに就任いたしました。未来ある子どもたちの礎にならんと努力して参りたいと思います。これは、まだ秘密の計画なのですが、いつか卒園児を中心に少年・少女聖歌隊を結成し、近所のルーテル羽村教会(礼拝堂の音響が素晴らしい!)でその歌声をとどろかせたいと、勝手に思案しております。その実現が私の未来希望図です。

加藤拓末(ルーテル羽村幼稚園園長・バツ八研究者)NHKFM「古楽の楽しみ」(朝5:00~5:55放送)にレギュラー出演中。

「Kommt,lasst uns unsern Kindern leben! さあ、子どもたちに生きようではないか！」

八木 久美*むさしの教会



フリードリッヒ・フレーベル: Friedrich Wilhelm August Fröbel (1782-1852年)。

❖世界で最初に幼稚園を創立、その基礎を築きドイツ全土に広めた教育学者として知られ、タイトルの言葉の通り、小学校就学前の子どもたちの教育に一生を捧げた幼児教育の父と言われています。

❖ドイツのチューリンゲン州オーバーヴァイスバッハの牧師の家庭に生まれ、生後八ヶ月で実母を亡くし孤独を抱えた幼少期を送るも、進学之余裕がない中で教師の職業を得、ペスタロッツィ(孤児や貧困の子どものための孤児院や全寮制学校の創設者)との出会いを通して、直観教授や劳作教育実践の初等教育の教えに師事し、後年フレーベルは、ペスタロッツィの教えを現代に通じる幼児教育へと応用、展開していきました。

❖幼稚園(Kindergarten:子どもの園)の言葉は彼の造語で、現在幼稚園で行われている「遊戯」や「歌」や「絵を描くこと」、「園庭」や「花壇」などを通して自然に触れる大切さを提唱。遊具を「Gabe:ガーベ=神からの贈り物:恩物(おんぶつ)」と考えて、自然の中や生

活の周囲にあるものを球や立方体などで表現して遊ぶ「積み木」を考案、現在世界中の至る所で愛用されています。

❖世界的な建築家として著名なフランク・ロイド・ライトの建築や、バウハウス(ドイツのワイマールで始まった世界的に影響のある芸術・デザイン運動)の発想や教育にも「恩物」が影響を与えています。日本で最古のお茶の水女子大学附属幼稚園(1876年開園)では、現在も「恩物:おんぶつ」を大切にしています。

❖今回の特集から、生活全般のデジタル化が進む今日、多くのルーテル幼稚園ではフレーベルが提唱した(この古くて新しい)思想が底流に脈々と流れ続けていることが感じられ、幸いで感謝なことと思います。そして今も、これからも、子どもたち一人一人の存在と個性には、普遍性と多様性が内包されており、これこそが、掛け替えのない神の恩物であることを示してくれています。

『球根の中には』こどもさんびか135番: 讃美歌21:575番

ナタリー・スリース作詞/作曲

きゅうこんの中には 花が秘められ

蛹(さなぎ)の中から 命羽ばたく

寒い冬の中 春は目覚める

その日 その時を ただ神が知る

6/4 第3回「春の会長会&女性の集い(ハイブリッド形式開催)」から *

*ハイブリッド形式の開催:対面・書面



藤が丘教会*江越 倫子

コロナ禍では考えられなかった今回の女性の集いを画期的な方法で準備をされ尽力下さった東教区女性会役員様、むさしの教会の皆様にご心より感謝申し上げます。ハイブリッド方式と言う新しい試みで他教会の皆様のお顔を拝見し、メッセージをお聞きして懐かしさで胸が一杯になりました。(本当に世の中は進歩している〜と実感)

しかし、同時に休会せざるを得なかった女性会の現実も知り、正直一抹の不安も感じております。教区全体での高齢化の加速や信徒減少もあり、女性会自体の存続や規模も各教会で異なり、又三年毎の東教区女性会役員改選も大きな問題と認識いたしました。

今後は各女性会で[女性会のあり方]を考え、祈りながらこれまでの女性会の絆を繋げていけたら〜と思います。他教会の女性会とコミュニケーションを取りつつ、互いに尊重しあい、神様に支えられる豊かな女性会の交わりが続きますようお祈り申し上げます。



むさしの教会*萩森 恵美子

女性会の集い当日は、朝から前日の雷雨が嘘のように晴れ渡り、本当に気持ちの良い一日となりました。教会へ着き礼拝堂の長椅子に腰を下ろして一段落すると聖壇前の献花に目が留まりました。活かされているその姿がとても印象的だったので見ていると、まるで聖霊が炎のように私たちの上に降ってくるように思えました。

第1部の開会礼拝では、マルコによる福音書10章14節b「子どもたちを私の所に来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。」との御言葉の奨励がありました。この御言葉は私の好きな聖句の一つです。

私の家の近くには公園があり、小さな子ども達が保育士のお姉さん達に見守られながら元気な声で砂遊びやかっこをしている様子をよく見かけます。

無心で遊ぶこの子どもたちを見ていると、私たちが住むこの地球が、平和で皆が安心して暮らせるようになることを願ってやみません。

今 世界中で起きている侵略や戦争、コロナ感染による社会や暮らしの不安を考えると平和には程遠い状況ですが、「神の国はこのような者(子どもたちのような)たちのものである」とあるように、私たちが身近なところから平和の種蒔きをあきらめること無く、祈りながらその芽を少しずつ育てていけたらと思います。

会場とZoom参加のみなさんも同じ思いで繋がっていたのではないのでしょうか。

東教区女性会のお働きのうえに主の祝福が豊かにありますように。



むさしの教会礼拝堂にて



聖パウロ教会*匿名希望

私は今回はじめて東教区の女性会の集いに参加しました。最近まで義理の両親の介護があり、なかなか教会に来ることも難しく女性会にも長い間参加できませんでした。

介護中は、長寿サポートセンターに相談しても解決出来ない問題も沢山ありましたが、教会の女性会会員の方に本当にお世話になりました。

本当に数え切れないほど沢山のライフハックと励ましを頂きました。本当に苦しくて仕方無い時は、深呼吸しながら謝罪すると良いと教えて頂いたこともとても役立ちました。教会の女性会の皆様へ励まされて、ただ辛いだけの介護が神様の愛を分かち合う信仰生活の場へと変えられて行きました。

今年3月に義母が天に召され介護を卒業しました。約5年間の介護でした。こちらがどんなに尽くしても全て拒絶され、介護もお世話も「私から恩を盗んで揺する気だ」と受け取られてしまい、被害妄想の誤解が解けぬまま、最期までわだかまりが残る関係性で終わってしまいました。最期は義母はICUで言葉も出せなくなり眠る日々でした。枕元で讃美歌を歌うと義母は静かに涙を流しました。キリストの愛を伝えられたのかどうか。それは義母と神様にしか分からない事です。

今回、初めて東教区の女性会に参加させて頂いて、各方面で神様の愛を運び、社会を良くするために活躍されている方達の存在を知りました。お一人お一人に仕事や家庭の事情があるかと思いますが、それでも活発に活動をされている方が沢山居られることに、とても勇気を頂きました。私の知っている世界が豊かに広がりました。教会の女性会の皆様から支えられたように私も誰かを支える時が来る事を祈っています。

参加させて頂いた事、感想を書かせて下さる事に感謝します。

❖監査報告【25期東教区女性会会計 2021年度決算・2022年度予算案】

2021年度(2021年1月1日～12月31日)東教区女性会会計決算、2022年度予算について監査結果をご報告いたします。

1. 監査日時:2022年1月29日(金)10時30分～14時00分
2. 大岡山教会
3. 監査人:成田 節子姉(第25回教区女性会総会選出)、天木 鈴子姉(第25回教区女性会総会選出)
4. 立会人:滝沢 峰子(教区女性会会計)、島田 洋子(教区女性会副会長)

収支決算・予算(案) 2021年度決算/2022年度予算(案)

東教区女性会 25期

単位:円

■支援献金 内訳(2021年)

■連盟送金 内訳(2021年)

費目	2021年度		2022年度	2021年度内訳
	予算	決算	予算(案)	
東教区会費	480,000	447,600	480,000	1,200円×373人
教区便り講読費	20,000	18,000	20,000	100×181部
教区活動支援献金	100,000	67,800	100,000	16教会
感謝献金	50,000	80,165	50,000	13教会 秋の女性の集いへの献金
コーヒーショップ	60,000	0	60,000	コロナ感染拡大のため中止
雑収入	500	15	500	普通・定期預金利息等
小計	710,500	613,680	710,500	
前年度繰越金	1,462,327	1,462,327	1,686,481	
収入合計	2,172,827	2,076,007	2,396,981	
教区便り	100,000	55,609	100,000	印刷・発送等
会議費	100,000	24,000	100,000	会場費、牧師、オルガニスト謝礼
交通費	200,000	14,672	200,000	役員会・会長会
教区交流費	100,000	0	100,000	コロナ感染拡大のため実施せず
地区活動費	120,000	14,010	120,000	城北総武地区 中央線沿線地区 城南神奈川地区
次世代育成支援金	80,000	60,000	80,000	TNG活動支援・神学生への手帳
通信事務費	20,000	9,877	20,000	事務用品・郵便・通信
慶弔費	10,000	0	10,000	
予備費	10,000	0	10,000	
支援献金	200,000	0	200,000	ほしくずの会・東京老人ホーム ブラジル伝道・ベタニヤ/千葉ベタニヤホーム・神学校・九州地区(熊本)
連盟総大会積立金	100,000	20,000	100,000	
東教区総会積立金	50,000	0	50,000	
コーヒーショップ	10,000	0	10,000	コロナ感染拡大のため実施せず
雑費	5,000	11,358	5,000	振込手数料等
仮受金	0	0	0	
小計	1,105,000	389,526	1,105,000	
次年度繰越金	1,067,827	1,686,481	1,291,981	
支出合計	2,172,827	2,076,007	2,396,981	

支援先	金額	連盟会費	969,800
ほしくずの会	30,000	会報購読	93,600
東京老人ホーム	30,000	連盟支援	73,000
ベタニヤホーム	20,000	感謝献金	87,400
千葉ベタニヤホーム	20,000	サバ支援	157,000
ブラジル伝道	20,000	リーストコイン	41,848
神学校	80,000	TNG	51,500
合計	200,000	ACWC	11,400
		合計	1,485,548

現金・貯金・残高

通常郵便貯金	1,855,633	次年度繰越金	1,686,481
定額・定期	500,000	積立金残高	707,920
現金	38,768		
合計	2,394,401	合計	2,394,401

(2021年12月31日 現在)

連盟総・大会 教区総会積立金

積立金会計	収入	支出	残高
連盟総・大会積立金	450,000		450,000
21年度積立			0
教区総会積立金	350,000	92,080	257,920
21年度積立			0
		合計	707,920

* 定期・定額預金(旧)19期 用いたまえ愛の主よ基金 500,000円



これからの予定・ご案内 ※アーカイブ(記録)として当時のまま記載

● 2022 NCC 世界祈祷日オンライン東京集会

日時：3月5日(土) 午後1時~3時
主催：NCC 女性委員会 世界祈祷日
収録会場：日本バプテスト同盟 日本バプテスト深川教会
下記アドレスからご視聴・ご参加ください。
<https://cloister171.blog.fc2.com/blog-entry-83.html>
お問合：日本バプテスト同盟全国女性会関東部会 久保園奈津子迄

● ルーテル学院大学・神学校卒業式 / 入学式

【卒業式】*規模を縮小し卒業生・専任教員のみ参列
日時：3月11日(金)
会場：ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校チャペル
【入学式】
日時：未定
会場：ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校チャペル

● 第59回東教区定期総会・第29回第30回全国総会定期総会

【東教区】日時：3月21日(月・祝)
会場：宣教百年記念会堂(東京教会)
集会+オンラインZoom→(新型コロナウイルス感染状況を鑑みて変更あり)
【全 国】日時：5月3~5日(火・水・木 / 祝)
会場：カンファレンスセンター@市ヶ谷
集会+オンラインZoom→(新型コロナウイルス感染状況を鑑みて変更あり)

● 教区・全国総会 開期中のコーヒーショップ

*いつもご協力をありがとうございます。
新型コロナウイルス感染予防策を講じ2020年よりコーヒーショップは休止しています。

● 各教会女性会「会員調査報告」ご協力のお願い

*各教会女性会 会長皆様からのご報告をお待ちしています。
期限：3月1日(火)
送付先：東教区女性会役員会 担当：牧野(書記) 迄
内容：各教会女性会 役員 / 会員数・年代別 / ご召天者 / 会報。
(各教会会長→教区役員会→連盟事務局で保管)

● アンケート「SDGs: ジェンダーについて」ご協力のお願い

*各教会女性会 会長皆様からのご報告をお待ちしています。
期限：3月3日(木)
送付先：女性会連盟事務局迄
内容：会報164号SDGs特集「ジェンダーについて」各教会 / 女性会 / 各教会の現状をお知らせください。
(各教会会長→教区役員会→連盟事務局で保管)

● Her-stories 行動する女性たの物語 販売のご案内

*LWF/WICAS 協力委員 望月通子さんご翻訳の本書 70部限定
送付先：「教会・女性会長名、ご希望冊数」を女性会連盟事務局迄
事務局より「お振り込み口座番号、個別の送料」をお知らせします。
700円 / 1冊+送料
内容：困難な状況から道を切り開いてきた世界の同胞の歴史。
貴重な信仰の証言集をぜひこの機会にお読みください。

● 各教会女性会「会費納入」ご協力のお願い

*各教会女性会 会計皆様のご協力を願います。
みなさま工夫しながら活動されていることと思います。
4月にご案内を発送予定です。ご覧ください。
東教区女性会役員会 担当：滝沢(会計) より

※ご不明の点は教区役員会 各担当役員までご連絡ください



コロナで活動制限される中、アンケートのお願いで始まる今期のまとめへと繋がる別な形での参加型の会報が出来上がりました。集えない今こそ、役員一同力を合わせて皆様に心待ちにさせていただける、意味のある会報をお届けしたいと思います。K.K

「コロナの中で、出来ることを出来るかたちで」。皆さまと祈りを合わせ、力を合わせて、体と心の声を聞きながら進んでいかれる役員会でありますように。M.T

「いつまでも残るものは信仰・希望・愛です」我が家のリフォームをお願いした大工さんが良い言葉ですね、と何度も声にしていた聖句。このように聖句が世に響き日本に、世界に広がっていくように神さまの恵みを力にして。Y.S

「これからどう変わるか楽しみにしている！」と、男女を問わず皆様がアンケートに協力くださいました。コロナの時代だからこそ、教会を繋ぐ情報を発信できるような活動をしていきたい。休会中の教会も、未来に向けて、ぜひ加わってください！ M.M

パンデミックと紛争・侵略の影響が、私たちの日常や教会生活の意識を大きく変えてきました。その中で浮き彫りにされた貴重な事柄を忘れずに、未来への希望や喜びの原動力として紡いでいかれますように祈りつつ。K.Y

コロナ禍に時を刻んだ証として100号・101号合併号が発行の運びとなりました。会員みなさまには、ご不便をお掛けしましたこととお詫び申し上げます。25期の3年間は主の憐れみと恵みの内に導かれ、多くの出会いと学びが与えられましたことに心より感謝いたします。(文書・役員一同)